

もり はし きよてん 森林から創まる「ちくさの拠点」づくり

— みんなで進める地域の基地づくり —

12月5日に「第5回千種生活圏の拠点づくり検討委員会」を開催しました。

まず、前回に引き続いてこれまでのキーワードを基に、拠点の機能や役割についてワークショップを行い、各班から出た意見について発表していただきました。



◎ワークショップでの主な意見（一部抜粋）

- 建物の中に、いろいろな店舗が入ることやホールなどのスペースを貸し出すことにより、賃貸料収入で維持費を賄うことができるのではないか。
- 千種高校の生徒確保のため、高校生向けの下宿が必要ではないか。
- ホールを大きくすることで、防災面でも緊急事態に対応できる。
- 地元の特産品を活かすような機能があれば観光振興に繋がる。
- バスターミナルの併設や、商工会窓口、観光の案内所を置いてはどうか。
- ワンストップサービスということで、生活用品などそこに行けば何でも揃うという場所にする。
- 無料で誰でも利用できる電動式の乗り物を並べておき、そこから商店街への買い物やエーガイヤの診療所など、拠点までくれば自分で行きたいところに行けるようにしておけば面白いのではないか。
- 家族ごと千種町に来ていただける拠点づくりができないか。家族ごと移住してもらえれば人口が増え、子どもも増える
- オシャレな場所でなければ若者が集まらない。また、情報発信としてインスタ映えするようなことを考えてもよいのではないか。

その後、拠点エリア内で必要な機能を整理していくため、エリア周辺の地図を見ながら、もう1つワークショップを行い、今ある機能や今後こういう機能があればという意見を地図上で整理しました。こちらも3班に分かれてそれぞれ

出た意見を発表していただきました。

◎ワークショップでの主な意見（一部抜粋）

- 拠点エリアの機能に、若者が集まる場所や医療関係が少ないことに気付いた。
- 飲食店や商店、買い物するところが多くあるが、地域外から来た住民は知らないところが沢山ある。カラオケ喫茶があることも知らなかった。
- エーガイヤと市民局周辺に機能が 2 極化する。エーガイヤ周辺は地域外向けに観光分野を重点的にし、市民局周辺は行政や地域コミュニティの関係がまとまったらいいのではないか。
- 国道 429 号から市民局への進入路に段差があるが、建物を利用しやすいように改善が必要。
- 若者が集まる場所がないということだが、ええとこセンターは千種高校の町の駅になっており、高校生が月 1 回利用されている。また、ええとこ広場では、放課後に高校生が帰るまでの時間を過ごしているのをよく見かける。市民局やセンターちくさも若者が集まる場所になると思う。
- 健康づくりや仲間づくり、生きがいづくりなど、高齢者などが集まる場所が少なくとも 1 ヶ所はある。

2 つのワークショップは、お互いの考えを話し合う良い機会となったのではないかと思います。また、地図上で整理していくことで、これから必要となる機能や改善したいところなどが見えてきたのではないかと思います。

拠点エリアに若者の集まる場所がなかなか見つからないということでしたが、これから高校生など若者の意見も聞きながら若者の基地となるような機能を考えていければと思います。

次回の委員会では、千種町と同じような取組みを進めている先進地への視察を予定しています。今後の議論に活かしていきたいと思います。



■ 千種生活圏の拠点づくりに関するお問合せ先

穴粟市役所企画総務部 地域創生課

電話：0790-63-3066

FAX：0790-63-3060

e-mail：chiikisosei-kk@city.shiso.lg.jp

千種市民局まちづくり推進課

電話：0790-76-2210

FAX：0790-76-8020

e-mail：ch-machizukurisuishin-kk@city.shiso.lg.jp

